

第41回

全国学童保育研究集会

2006年10月28日(土) 全体会 愛知県体育館
10月29日(日) 分科会 日本福祉大学(美浜キャンパス)



主催 全国学童保育連絡協議会
愛知学童保育連絡協議会

後援 愛知県・愛知県教育委員会
愛知県社会福祉協議会
名古屋市・名古屋市社会福祉協議会 ほか



全国学童保育連絡協議会／編集・発行

日本の

学童ひろく

働きながらの子育てと、学童保育
の実践と運動に役立つ記事が満載

月刊／定価330円

愛知県連協へ

参加申し込み書

第41回全国学童保育研究集会

氏名		電話 (またはFAX)	
(ふりがな)		自宅 () -	
		職場 () -	
参加証送り先 (一括送付・個別送付) *参加証を送付しますので正確に記入してください。			
〒□□□□-□□□□		*自宅以外の場合は、学童保育名・団体名、様方等を必ず記入してください。	
所属学童保育名			
()都道府県 ()市区町村 ()			
集会参加回数	保護者(OB含む)	指導員	児童館職員
回	学生	その他 ()	自治体職員
			議員
			児童委員
保育の申し込み (子どもの年齢、人数、その他必要事項をお書きください)			
28日	歳	29日	歳
申し込み欄	①参加費：3500円 ②弁当代：800円×() 個=_____円		
	③名古屋クラウンホテル宿泊は申し込まずに分科会直行バスを利用する方：2400円×()人=_____円		
	※宿泊とあわせてバス利用を申し込まれる方は、[宿泊申し込み書]の欄でお申し込みください。		
	★以下の項は、③を利用される方のみご記入ください。		
	乗り場をA Bから、帰りの到着先をC D Eから選択し、それぞれローマ字を記入してください。 ・行き…A：J R名古屋駅西口8時発、B：名古屋クラウンホテル8時発 ご希望 () ・帰り…C：J R名古屋駅着、D：金山駅着、E：セントレア空港着 ご希望 ()		
①+②+ (③宿泊せずにバスを利用される方のみ) =計 _____円を添えて申し込みます			

きりとり

富士ツーリストへ

宿泊申し込み書

第41回全国学童保育研究集会

*必ず、お手許にコピー(控え)をお残しください。

ふりがな お申込者名 ※(代表者名)			宿泊申し込み合計人数	
TEL	自宅 () -		FAX	自宅 () -
	職場 () -			職場 () -
連絡先住所 (予約確認書送付先)	〒 -		勤務先 ・ 自宅	

ふりがな 宿泊者氏名	年齢	性別	希望タイプ (丸印で囲む)	分科会直行バス
			シングル ツイン	利用する 利用しない
分科会直行バスを利用される方へ (上記で直行バス利用するに丸を付けられた方のみ記入) 「帰り」はどこで降車するのか希望する降車場所を下記から選択し、丸印で囲ってください。 分科会終了後随時→(JR名古屋駅まで・金山駅まで・セントレア空港まで)				
〈備考欄〉				

※まとめて申し込まれる場合は、代表者を決めていただき、各宿泊者毎に申し込み書を記入のうえ、同時に送付してください。予約確認書は代表者へ一括してご郵送します。

*前泊・後泊等をご希望の方は、備考欄にくわしくご記入ください。

*ベッドの不要な幼児を同伴される場合は、備考欄にその旨を記入してください。

全体会

10月28日(土) 13:00~16:30 愛知県体育館

12:00 受付開始
 13:50~14:20 基調提案
 14:20~14:50 特別報告
 15:00~16:20 記念講演

13:00~13:30 歓迎行事
 13:30~13:50 開会行事

全国学童保育連絡協議会
 *保護者から *指導員から
語ること、聴きとられること
 ——子どもと大人がともに生きる道



よこゆそのこ
横湯園子 (中央大学教授・臨床心理士)

〈プロフィール〉

1939年、静岡県生まれ。日本社会事業大学社会福祉学部卒。国立国府台病院児童精神科病棟内分校教師、千葉県市川市教育センター指導主事、女子美術大学助教授、北海道大学教授を経て、現在に至る。北海道子どもの虐待防止協会元代表、現顧問。DCI（子どもの権利のための国連NGO）日本支部副代表。主な著書に『子どもの心の不思議』（柏書房）『教育臨床心理学～愛・いやし・人権 そして回復』（東京大学出版会）ほか。『日本の学童はいく』8月号特集「生命の大切さを伝えたい」に執筆。

16:30 閉会
 17:30~20:00 交流会（別会場）

分科会

10月29日(日) 9:30~16:00
日本福祉大学（美浜キャンパス）

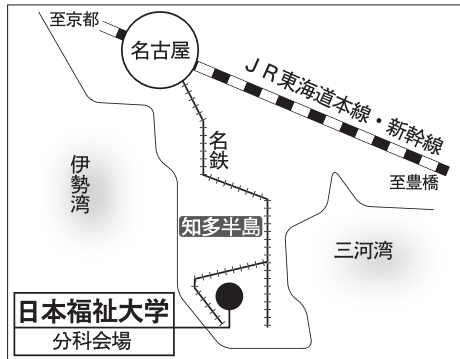
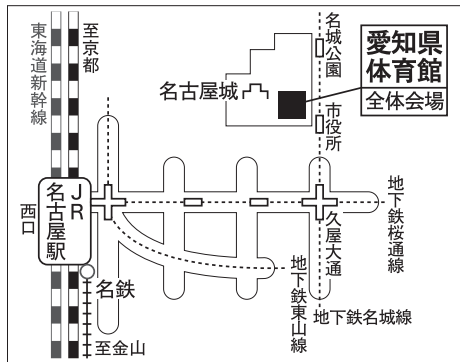
8:30 受付開始
 9:30~16:00 分科会

●全体会会場への交通●

- 名古屋駅経由（名古屋駅からの所要時間は約25分）市営地下鉄桜通線に乗り、「久屋大通駅」で名城線右回りに乗り換え、「市役所駅」下車 徒歩5分
- 金山駅経由（金山駅からの所用時間は約15分）市営地下鉄名城線右回りに乗り、「市役所駅」下車 徒歩5分

●分科会会場への交通●

- 分科会会場へは、名鉄を利用、直行バスを利用のふた通りの方法があります。名鉄は発車本数と車両が少ないので、直行バスをおすすめします。
- ◎名鉄を利用する場合（運賃はJR名古屋駅からの場合、往復1900円、特急利用は2600円）
 名鉄名古屋駅 7:55発→名鉄名古屋本線急行・河和行→金山駅 7:59発→富貴駅 8:38着乗り換え 名鉄知多新線・内海行 8:44発→知多奥田駅 8:54着 駅から徒歩5分
- ◎直行バスを利用する場合（乗り場は2か所あります）
 ・JR名古屋駅西口 8:00発→会場 9:00頃着
 ・名古屋クラウンホテル横 8:00発→会場 9:00頃着
 （注）直行バスは完全申し込み制です。参加申し込み、宿泊を申し込みの際に合わせて申し込んでください（定員1500名）。くわしくは「参加申し込み方法」の欄をご覧ください。



10月29日(日)

9:30~16:00

分科会

●日本福祉大学
(美浜キャンパス)

テーマにそって1日、学習・交流し、ともに考えあいます。

	分科会	学習・交流のねらい
1 基礎講座 (講義)	①今日の子育てと学童保育の役割	働きながら子育てをする家庭にとって不可欠な学童保育。今日の親の仕事・職場や子育て環境の変化をふまえて、学童保育の役割と必要な条件、あり方を学ぶ。また、施策の動向で問題となっている「全児童対策事業」との役割の違いも学ぶ。
	②よりよい学童保育づくりと父母の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・わが子が安心して生活できる学童保育をつくるために、指導員とのかかわりも含めた運営、条件整備の取り組みなど、一人ひとりの父母の責任と父母会の役割を学ぶ。 ・学童保育の新設・増設のすすめ方について学ぶ。
	③指導員の仕事と役割	指導員の仕事とは何かを確かめ、仕事をしていくうえで必要な実務や打ち合わせなどを学ぶ。また、よりよい学童保育をつくっていくうえで指導員に求められる課題を学ぶ。
	④学童保育の役割と大切にしたい生活内容	働く親をもつ子どもたちに保障したい学童保育の生活内容、親が安心して働けるために大切にしたいことについて学ぶ。
2 子ども理解と学童保育の生活づくり(実践の交流)	一人ひとりの子どもの学童保育での生活を保障し、親が安心して働けるために大切にしたいことを、実践を交流しながら学びあう	
	①子どもをとらえる視点と働きかけ・指導 (3教室)	一人ひとりの子どもをどうとらえるか、子どもへの働きかけ・指導の視点を学びあう。
	②安心できる関係づくりと生活内容 (2教室)	学童保育が子どもたちにとって安心感のある生活の場になっていることが大切。一人ひとりの子どもと指導員の間関係を土台として、子ども同士の関係がつくられるような毎日の生活づくりの課題を学びあう。
	③学童保育の生活の流れと組み立て (2教室)	継続的で安定した毎日の生活をつくるために、平日の放課後・土曜日・長期休業日など、子どもの実態をふまえた生活の流れや組み立て、年間の見通しをどうつくるのかを学ぶ。
	④学童保育の生活づくりとあそび (2教室)	学童保育の子どもたちの生活とあそびの実態を交流しながら、子どもにとってのあそびの意味や指導員のかかわりを学びあう。
	⑤子どもたちの生活を伝え、親とともに育てる (2教室)	学童保育の子どもたちの姿や指導員のかかわりを親に伝えることの大切さを交流し、さまざまな親の生活や願いを受けとめながら、ともに子どもを育てることの大切さを学ぶ。
⑥高学年を含めた学童保育の生活づくり (2教室)	高学年の子どものおかれている状況や要求をとらえ、高学年を含めた学童保育の生活づくりで大切にしたいことを学びあう。	
	運動を交流する分科会	学習・交流のねらい
3	私たちが求める学童保育とは？ —設置・運営基準づくりの課題と運動—	全国学童保育連絡協議会が2003年6月にまとめた提言「私たちが求める学童保育の設置・運営基準」をもとに、学童保育に必要な条件、私たちの願い・要求を確かめ、運営基準づくりの運動や改善運動を交流する。

	運動を交流する分科会	学習・交流のねらい
4	父母会・保護者会の役割と活動 (2教室)	<ul style="list-style-type: none"> なぜ父母会(保護者会)が必要なのか、父母会の持つ役割と大切さを学ぶ。 みんなが参加できる父母会、魅力ある父母会づくりを交流する。 父母会と学童保育連絡協議会のそれぞれの役割と関わりを交流する。
5	共同運営の学童保育 －運営と改善の課題－	保護者が実質的に運営を担っている共同運営の学童保育(地域運営委員会方式を含む)の実態と課題を交流し、行政への働きかけや運営・運動の課題を学びあう。
6	公立公営の学童保育 －実態と改善の課題－	<ul style="list-style-type: none"> 公立公営の学童保育の実態と課題を明らかにする。 父母の願いに応える公立公営の学童保育をどうつくるか学びあう。(入所基準・定員、開設時間、指導員の雇用・労働条件、生活内容、父母会活動など)
7	児童館と学童保育 －学童保育の役割の確かめ－	<ul style="list-style-type: none"> 児童館・併設学童保育の実態を交流する。 国や自治体の施策の動向を明らかにし、学童保育の確立、児童館とのかかわり、運動の課題を学びあう。
8	「全児童対策事業」と学童保育	「放課後子どもプラン」の問題と運動の課題を学ぶ。「地域子ども教室推進事業」も含む、余裕教室を活用した「すべての児童のためのあそび場提供事業」の実態を交流する。「全児童対策事業」を「学童保育に代わる事業」として推進している地域の実態と問題点を明らかにし、学童保育固有の役割を確かめつつ、施策の拡充の課題を学びあう。
9	学校内の学童保育 －実態と改善の課題－	学校施設利用について、国や自治体、地域の動向を学び、実態を交流しながら、条件整備の課題と留意すべきことを確かめる。
10	子どもにやさしい学童保育の施設を －実態と改善の課題－	施設・設備の実態と課題、改善運動を交流しながら、学期期の子どもたちの生活の場いさわしい学童保育の施設について学びあう。
11	学童保育の大規模化と 新設・増設の課題	学童保育の大規模化が広がっているなかで、その背景・要因を明らかにし、子どもたちの学童保育での生活の実態や指導員の悩みを交流し、新設、分離・増設の必要性と運動の課題を学ぶ。
12 自治体の学童保育の施策をどう充実させるか	①自治体施策 －分析の視点と改善運動の課題－	自治体の施策と改善運動についてのレポートをもとに、公的責任とは何かを明らかにしながら、施策分析の視点、施策の改善運動の課題を学びあう。(自治体の学童保育施策、要綱等の資料を60部用意して参加してください)
	②学童保育施策をめぐる動きと 改善運動	いま自治体では、市町村合併がすすめられる一方、次世代育成支援対策の「地域行動計画」に基づく施策がすすめられている。また、市町村で「放課後子どもプラン」づくりが始まる。財政抑制と、自治体の仕事を民間に任せる動きが広がるなかで、学童保育施策を後退させずに改善させていくための情報や運動を交流する。
	③(特設分科会)指定管理者制度と 学童保育 助言者・榊原秀訓(南山大学)	「公の施設」の管理運営で導入が検討されている指定管理者制度について、学童保育施設への導入の実態や問題点を学び、運動を交流する。
13 指導員にかかわる課題	①専任・常勤・複数体制と 労働条件の確立	指導員の仕事を確かめながら、専任・常勤・複数体制がなぜ必要なのかを学ぶ。各地の「午後からの勤務」「非常勤」「非専任」体制の実態と問題点を明らかにし、労働条件の改善も含めた運動を交流する。
	②指導員の資質の向上と研修活動	指導員にとって日常的・継続的な研修と経験の蓄積の大切さを確かめる。指導員の研修内容を交流しながら仕事に必要な研修内容を確かめる。「実践を振り返る」ことの大切さと方法について学びあう。
	③都道府県・市町村の 指導員会づくり	指導員をめぐる情勢を学び、地域(都道府県、地区、市町村レベル)の指導員会づくりの必要性やあり方について学びあう。各地の指導員会の活動を交流する。

	講義と交流の分科会	学習・交流のねらい
障害児と学童保育	①障害児の受け入れと障害児理解 講師・白石正久(大阪電気通信大学)	LD・ADHDなども含め、障害児の障害と発達・生活・権利への理解を深め、学童保育に受け入れるにあたっての視点や条件整備の課題を学ぶ。
	②障害児を含めた生活づくり —実践の交流と確かめ— 助言者・木全和巳(日本福祉大学)	障害児が入所している学童保育での健常児を含めた生活づくりの実践を交流し、指導員の働きかけ・かかわりで大切にしたいことを学びあう。
	③障害児を対象とした学童保育づくり 講師・越野和之(奈良教育大学)	地域で障害児が生活し、成長していくことをどう保障するのか。障害児を対象とした学童保育や放課後ケア施設をつくり、充実させていくための課題を学び、実践と運動を交流する。
15	高学年の子どもの生活 講師・西條昭男(京都・小学校教諭)	高学年の子どもの心と身体の特徴・生活・要求を確かめ、高学年の子どもたちに保障したい放課後や家庭の生活を学ぶ。
16	子どもの権利を学ぶ 講師・増山 均(早稲田大学)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの権利とは何か、「子どもの権利条約」を今日の日本の実情とかかわらせて学ぶ。 家庭・学童保育の、子どもの権利をふまえた子どものとらえ方や子育ての課題を学ぶ。
17	今日の子どもの問題を考える 講師・村山士郎(大東文化大学)	衝撃的な少年犯罪の発生、いじめ、不登校、引きこもり、学級崩壊などに見られる今日の子どもをめぐる状況を明らかにし、子どものとらえ方を深め、子育てや教育の課題を学ぶ。
18	学童保育と学校 (2教室) —父母と指導員と教師のかかわり— 講師・土佐いく子(大阪・小学校教諭) 講師・渡辺恵津子(埼玉・小学校教諭)	<ul style="list-style-type: none"> 今日の学校・教師・子どもをめぐる問題・動向を学ぶ。 子育ての願いや子どもの生活を父母・指導員・教師が伝えあう大切さと、それぞれの実践の課題を学ぶ。
19	子どもの発達と学力 講師・藤村宣之(名古屋大学)	<ul style="list-style-type: none"> 学力とは何か。子どもの成長・発達と学力のかかわり、学力の土台になるものを学ぶ。 子どもの発達を保障するために家庭・学童保育・学校で大切にしたいことを学ぶ。
20	子どもの遊び・学び・仕事 講師・三輪睦雄(神奈川・小学校教諭)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの成長・発達と遊び・学び・仕事のかかわりを学ぶ。 働くことや働く人への理解や家事労働の大切さを学ぶ。
21	子どもの生活と地域・文化 講師・小木美代子(日本福祉大学)	<ul style="list-style-type: none"> 今日の子どもの地域・文化をめぐる状況を明らかにし、保障したい文化的環境や生活を学ぶ。 学校週五日制ともかかわって、大切にしたい地域の生活、大人の役割を学ぶ。
22	子どものからだと生活 講師・満保優子(愛知・小学校養護教諭)	<ul style="list-style-type: none"> 今日の子どものからだのおかしさや特徴を明らかにする。 成長期にある子どもの健康な身体づくりについて大切にしたいことを学ぶ。 食生活、生活のリズムなど、家庭や日常生活のあり方をとらえなおす視点を学ぶ。
23	働きながらの子育てと家族・家庭 講師・池添 素(らく相談室長)	親の仕事・職場の実態が家庭・子育てにどのように影響しているのかを明らかにしながら、家族・家庭の役割、父親も母親も人間らしく働き、いっしょに子育てするために求められる課題を学ぶ。
24	女性・男性の仕事・職場、働き方を考える 講師・原山恵子(弁護士)	<ul style="list-style-type: none"> 女性の仕事・職場、働く条件の実態を明らかにする。 女性の社会参加や子育てしながら働きつつけるために、保育の公的保障などの条件整備の課題を学ぶ。 男性も女性も人間らしく働ける労働条件や、働く環境の整備の課題を学ぶ。
25	地域に根ざす学童保育 —安全・安心な街づくりとともに— 講師・山崎丈夫(愛知学泉大学)	<ul style="list-style-type: none"> 学童保育が地域に根ざすとはどういうことかを学ぶ。 町内会・自治会など地域の団体と学童保育のかかわり、働く者と地域のかかわりについて学ぶ。 安全・安心な街づくりの課題を学ぶ。
26	自治体政策と地方自治の課題 —三位一体改革・市町村合併・外部化・自治・分権— 講師・二宮厚美(神戸大学)	<ul style="list-style-type: none"> 三位一体改革と地方「分権」、市町村合併、自治体リストラやアウトソーシング(外部化)、今日の地方自治と自治体をめぐる政策動向、地方自治と住民運動の課題を学ぶ。 地方自治とは何か、自治体と国の役割と責務について学ぶ。
27	社会保障・児童福祉施策の動向と課題 講師・浅井春夫(立教大学)	<ul style="list-style-type: none"> 社会保障・児童福祉、子育て支援、次世代育成支援対策をめぐる国の政策と自治体の施策の動向を学ぶ。 権利としての福祉、働きながらの子育ての保障を確立する運動の課題を学ぶ。

宿泊の申し込み

参加申し込みとは別に、宿泊の申し込み書に必要事項をご記入のうえ、下記の旅行会社・富士ツーリストに必ずFAXまたは郵送にて直接申し込んでください。申し込み変更等について、お電話での受付は原則としていたしませんので、必ずFAXをご利用ください。

①宿泊施設と料金

宿泊施設は名古屋クラウンホテル(都心の天然温泉／大浴場・露天風呂有り)1か所です。下記のタイプ別に受付いたします。また、こちらにお申し込みいただいた方には、2日目の分科会への直行バス(ホテルから分科会会場。分科会会場から名古屋駅・金山駅・セントレア空港／有料)の優先権がございますので、ぜひお申し込みください。

シングルタイプ 8,200円(一人) ツインタイプ 16,400円(二人合計)

分科会直行バス 往復2,400円(ホテル8:00発 帰りは分科会終了後随時)

*上記は、大人お一人あたりの1泊朝食付き(サービス料・税金込み)の料金です。

*朝食が不要になった場合でも払い戻しはいたしかねます。

②申し込み方法

宿泊申し込み書に部屋タイプと必要事項(直行バスの申し込み含む)をご記入のうえ、下記旅行会社宛にFAXまたは郵送にてお送りください。

③申し込み期限 9月29日(金)

ただし、申し込みは先着順に受付させていただきます。満室の場合はご容赦願います。

④送金方法

申し込み締切後、旅行会社より予約確認書兼請求書を送付しますので、10月6日(金)までに指定口座にお振り込みください。

⑤申し込み取消し

取消しおよび変更される場合は、お早めにFAXまたは郵送にて旅行会社にご連絡ください。ホテルでは受付いたしません。なお、下記の取消料(キャンセル料)が発生しますのでご了承ください。

10/7~10/19	宿泊代金の20%	10/20~10/26	宿泊代金の30%
10/27	宿泊代金の40%	10/28および無連絡	宿泊代金の100%

※取消しの基準はFAXの送信月日を有効といたします。日にちの変わり目は17:00とさせていただきます。それ以降は翌日扱いとなります。

※取消し後の返金は、研究集会当日に会場内の富士ツーリストデスクにて行います。参加されない方は後日、振り込みにて送金いたします。

⑥子ども(小学生・幼児)の料金

大人と同料金となります。ただし、ベッド・朝食が不要な場合は無料となります。申し込み書の備考欄にお子さんの年齢とその旨を必ずご記入ください。

宿泊申し込み先

〒460-0008 名古屋市中区栄3-32-26 安藤ビル4F

(株)富士ツーリスト 担当者:堀米・宇野

TEL 052-261-4621 FAX 052-251-6913 Email:mail@fuji-tourist.co.jp

営業時間:月~金 9:30-17:30(土・日・祝祭日休業)

申し込み締め切り日 2006年9月29日(金)

おねがい

レポート 資料

・分科会用に用意されたレポートや資料は、ご自身で印刷して分科会会場に持ち込み、必ず世話人を通して参加者に配布してください。また、1日目に全体会本部に2部お持ちください。

販 売

・販売は、実践や運動の記録、子どもの作品(文章など)に限ります。販売希望の方は、それぞれの都道府県連絡協議会または全国連絡協議会事務局に9月29日(金)までに申し込んでください。

・販売は、用意してある販売場所に限りお願いいたします。

・販売物は、全国連絡協議会に1部寄贈をお願いいたします。

・会場内では自粛してください。多くの参加者が会場内で署名・カンパ活動・チラシ配布などを行いますと、会場が混乱しますのでご協力ください。

・全体会場、分科会場ともに駐車場はありません。

チラシ配布 署名活動 カンパ活動等

駐 車 場

第41回全国学童保育研究集会のご案内

- と き 2006年10月28日(土) 13:00~16:30 全体会
10月29日(日) 9:30~16:00 分科会
- と ころ 全体会 愛知県体育館(名古屋市)
分科会 日本福祉大学(美浜キャンパス・知多郡美浜町)
- 参加費 3500円(資料代含む)
*1日のみの参加・両日参加、いずれも同じです。
*10月24日(火)以降にキャンセルした場合は返金できません。
- 弁 当 代 800円 (日曜日のみ。会場周辺には飲食店などの店舗がありませんので、昼食が必要な方は必ず申し込んでください)
- 参加申し込み方法

- *現金書留の場合は、「参加申し込み書」に必要な事項を記入のうえ、参加費(必要な方は弁当代も)を添えて、現金書留で下記宛てにお送りください。
- *郵便振替の場合は、参加費(必要な方は弁当代も)を下記の口座に振り込んでいただいたうえで、郵便振替の受領証のコピーと、必要な事項を記入した「参加申し込み書」とを同封して、下記宛てにお送りください。

参加申し込み先

〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町9-7 労働会館東館 保育センター内

愛知学童保育連絡協議会

TEL 052-872-1972 FAX 052-872-1974 Email:aichigakudou@yahoo.co.jp

(郵便振替) 口座番号 00800-7-203891

口座名義 愛知学童保育連絡協議会

*当日受付もありますが、混雑しますので、宿泊希望がない場合でも、事前に参加の申し込み(分科会会場直行バスを含む)をお願いします。

●宿泊の申し込み

*参加の申し込みとは別に、別記の要領にそって申し込んでください。

●保 育

*3歳以上は用意しますが、十分ではありませんので、できるだけ地域で対処してください。保険料・おやつ代は会場にていただきます。

*必ず事前に申し込んでください。(年齢・日程、その他必要なことがあれば申し込み書に書き込んでください)

●分科会会場への直行バス

分科会会場が名古屋市内から遠いこと、公共交通機関が名鉄のみで、しかも発車本数が少ないことから、JR名古屋駅西口と名古屋クラウンホテル(名古屋市中区栄1-8-33)から会場への直行バスを出します。ただし、完全申し込み制で往復利用(帰りは名古屋駅・金山駅・セントレア空港から選択)とさせていただきます、定員(1500人)になり次第締め切ります。料金は往復で2,400円です。名鉄を利用するより若干高いですが、分科会会場まで座っていただけること、時間のロスが少ないことなどから、こちらをおすすめいたします。

●問い合わせ

◇参加申し込み・分科会直行バスについては、愛知学童保育連絡協議会へ。

◇宿泊と宿泊者用分科会直行バスについては、(株)富士ツーリストへ。

◇研究集会の内容については、全国学童保育連絡協議会へ。

全国学童保育連絡協議会

〒113-0033 東京都文京区本郷2-26-13

TEL 03-3813-0477 FAX 03-3813-0765

<http://www2s.biglobe.ne.jp/~Gakudou>

(リーフレットは、HPからもダウンロードできます)

ご記入いただいた個人情報は、この研究集会に関する問い合わせのほか、各種受講案内や刊行物案内をお届けすることに利用させていただきます。全国学童保育連絡協議会の個人情報保護方針に基づき、ご本人の許可なく第三者への提供は行いません。